



NPO 法人 新宿区ウォーキング協会々報

第201号 2021年11月9日発行

【例会のご案内】

参加費: 会員無料、一般 400 円

第202回例会

「令和の甲州街道を歩こう No.6」 約 18km

日 時: 12月14日(火)

受付: 9:10 出発: 9:30

JR線高尾駅8:46 発小淵沢行きに乗っ
てください。藤野駅8:59 着

集 合: 藤野駅前広場(JR中央本線)

コース: 藤野駅(スタート)→上野原宿→鶴川宿→
野田尻宿→犬目宿→恋塚一里塚→下鳥
沢宿→上鳥沢宿(ゴール)

解 散: 鳥沢駅前(JR中央本線) 16:20 頃予定
「鳥沢駅」16:40 発 「高尾駅」17:14 着
または 17:13 発 「高尾駅」17:43 着

【ご注意】雨天や降雪の場合は延期します。

第203回例会

「新春深川七福神めぐり」 約8km

日 時: 令和4年1月4日(火) 受付: 8:40~9:00

集 合: 深川公園

最寄駅: 東京メトロ東西線都営大江戸線
「門前仲町駅」

コース: 深川公園(スタート)→富岡八幡宮(恵比
寿天)→冬木弁天堂(弁財天)→心行寺
(福祿寿)→深川稲荷神社(布袋尊)→深
川神明宮(寿老人)→円珠院(大黒天)→
龍光院(毘沙門天)→牡丹町公園(ゴール)

解 散: 牡丹町公園 12:00 頃

最寄駅: 東京メトロ東西線・都営大江戸線
「門前仲町駅」

【レガス健康ウォーキングのご案内】

主 催: 公益財団法人新宿未来創造財団
受 託: NPO 法人新宿区ウォーキング協会
参加費: 会員 200 円、一般 400 円

「夕景の皇居濠からイルミネーションの丸の内へ」 約8km

日 時: 12月8日(水) 受付: 15:00~15:15

集 合: JR線新宿駅新南口 ペンギン広場

コース: ペンギン広場(スタート)→国立競技場→
赤坂見附→三宅坂→桜田門→丸の内仲
通り→行幸通り(ゴール)

解 散: 行幸通り 17:30 頃

最寄駅: JR線・東京メトロ丸ノ内線「東京
駅」、東西線「大手町駅」

【いきいきウォーク新宿のご案内】

共催: 新宿区健康部健康づくり課
NPO法人新宿区ウォーキング協会
参加費: 無料

「箱根山から漱石山房」 約4km

日 時: 11月26日(金) 受付: 10:00~10:15

集 合: 若松地域センター第1集会室

最寄駅: 都営大江戸線「若松河田駅」

コース: 若松地域センター(スタート)→抜弁天→
箱根山→穴八幡宮→夏目坂→漱石山房
記念館→早稲田公園(ゴール)

解 散: 早稲田公園 13:00 頃予定

最寄駅: 東京メトロ東西線「早稲田駅」

※事前申込み制です。

新宿区健康部健康づくり推進係 03-5273-3047

【12月はありません】

第200回例会報告 「桃園川緑道を歩く」

緊急事態宣言が解消されたため、多くの人に参加した。特に一般の方が23名と多かった。新宿スポーツセンター前を3班に分け出発した。

あいかわらず長々と工事をしている山手線と西武線のガードをくぐり抜けて小滝橋方面へ向かう。小滝橋で神田川沿いに進んだ。末広橋を渡ったところに、南こうせつの“神田川”の歌碑がある。この場所で給水タイムをとった。

ここから桃園川緑道が始まる。宮下交差点を渡り実践学園高等学校、堀越学園高等学校を過ぎ、宮前公園でトイレ休憩をとった。中野総合病院前を通り、中野五差路を通過し、しばらく行くと杉並区側の桃園川緑道に入る。中野区側と整備の違いが感じられた。環七を横断して高円寺に向かう。

高円寺の地名は元小沢村と言っていたが、この寺院に家光が鷹狩りの折、茶室で休憩をした縁で高円寺村と改称したと伝わっている。また、この周辺に桃の木が多く桃園と呼ばれており、そばを流れる川を桃園川と呼んだと伝わっている。緑道に戻って中央線のガードをくぐり、けやき公園で休憩予定であったが、杉並区の施設建設のため閉鎖されていた。

雨が心配されていたが、最後のほうでポツリ、ポツリときただけで、運がよかった。神明宮境内で200回例会の記念写真を撮った。(塩崎)

200回例会の記念写真



新幹事の紹介

9月29日より10月20日の間に7回開催しましたウォーキングサポーター研修会を受講した下記5名の会員の方々が、11月より、幹事として協会の行事をサポートしていただきます。よろしくお願いいたします。

記

竹内 真幸・優子(西早稲田)、
宇佐美 準(富久町)、高橋 まゆみ(高田馬場)、
木村 園子(信濃町)



発行：NPO 法人新宿区ウォーキング協会
連絡事務所：
〒169-0051 新宿区西早稲田1-23-14
けやきハウス内 福本 弘 方
Fax: 03-3208-3531 携帯: 090-3217-4109
発行者: 小林 昌仁 編集責任者: 青木 久仁男